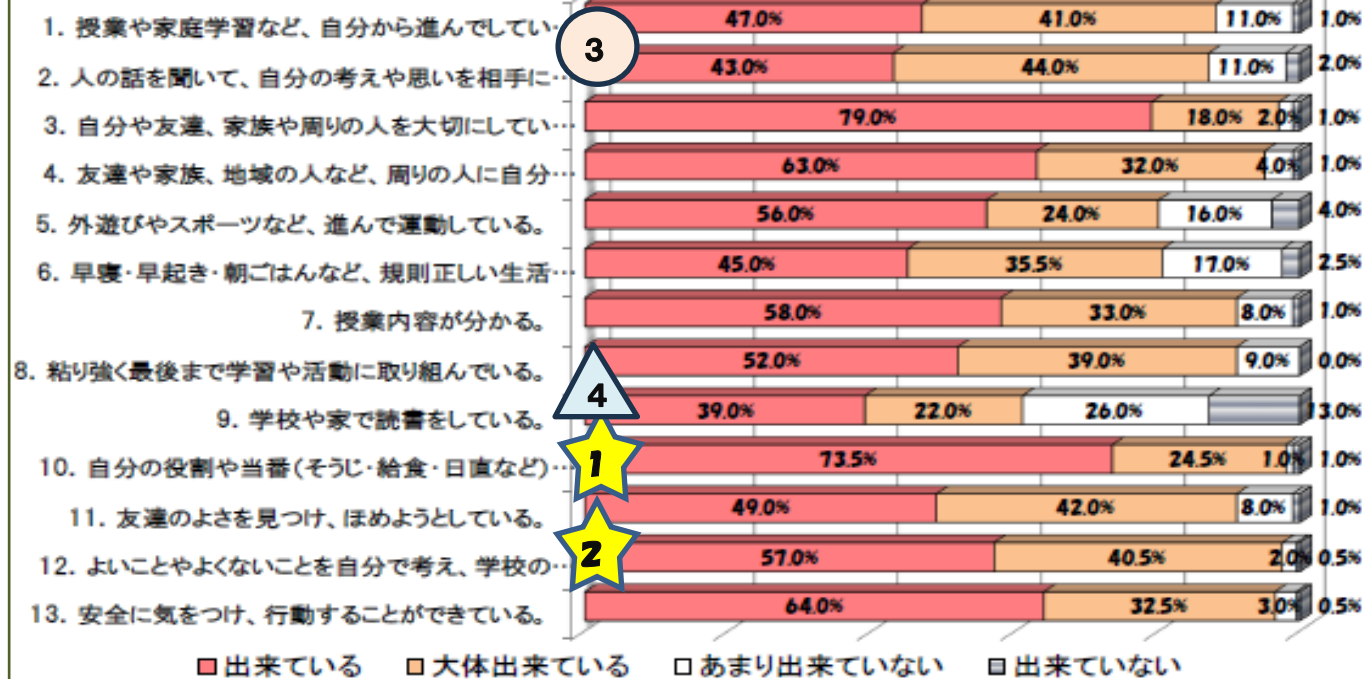


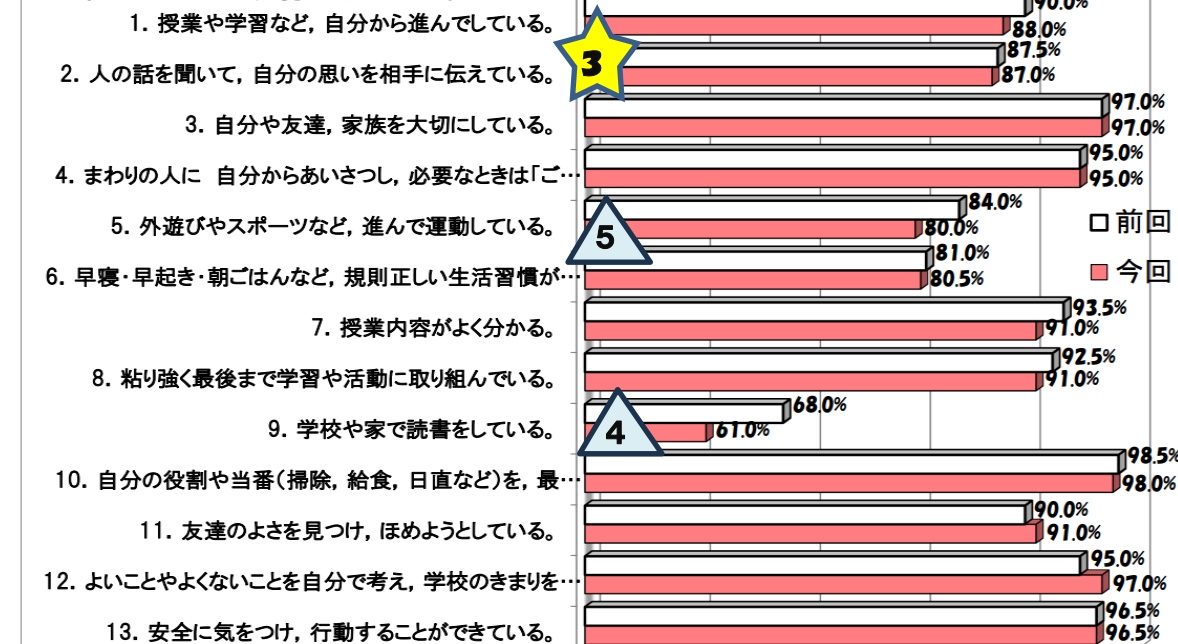
## 学校教育目標

自ら探究し、つながり合い、未来を拓く陵ヶ岡の子  
～探究力・人間力・自给力(3Motto)を育む陵ヶ岡教育の創造～

### 令和5年度 第2回 児童



### 前回(R5 7月)と今回の児童結果比較 (出来ている+大体出来ている)



# 第2回学校評価アンケートの集計結果について

寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。平素は本校教育活動の推進にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。12月に実施した第2回学校評価アンケートの結果をご報告いたします。前回同様に、3校(花山中・鏡山小・陵ヶ岡小)で統一した項目(1～6)と、本校の学校教育目標に照らして学習面や生活面を振り返る項目の結果の様子をみていきます。「3月臨時号」では、主に現況や第1回(7月)の結果との比較、今後の方向性等についてお伝えしたいと考えております。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

## ☆児童のアンケート結果より

第2回アンケート結果(左記)の13項目中10個の項目が、9割程度「できる・おおむねできる」となっています。子どもの多くが安定した学校生活を送っているといえます。特に、☆1「役割や当番を果たす」☆2「学校のきまりを守る」で高学年の数値が高いのは、学校全体が安定し、学級が学習集団として機能する上でも欠かせない誇るべき結果です。今後もSunlightの取組等を通して子どもの価値ある行動を見える化するなどし、学校・家庭・地域が連携して子どもを見守り、励ますことができれば幸いです。

ただし、○3「自ら進んで学ぶ」「相手の話を聞き、自分の考えや思いを伝える」は1回目と比較するとわずかに数値が下がっています。「主体的・対話的で深い学び」の実現は現行学習指導要領で目指す学びの姿です。子どもが「もっと学びたい」「もっと友達の考えを知りたい」「自分の考えを伝えたい」と思えるような授業展開の工夫や改善を引き続き行ってまいります。

△4「読書」については、「できている・おおむねできている」が6割程度でした。色々と対策は講じておりますが、令和2年度から同様の傾向が見られます。今回はリニューアル工事に伴い図書室が休館したことも影響し、前回から7%も低下しました。(左下)特に高学年は5割が読書をあまりしていないという結果となっています。(下)休み時間も委員会活動等忙しく過ごす高学年ならではの結果とも言えます。それでも、多様な情報の中から必要な情報の「取出し」や「関連付け」等を行う「情報選択・活用能力」は、これからの時代を生きる子ども達に欠かすことのできない力です。また、得た情報をうのみにせず、その意図を読み解くなど「読解力」の素地を育む上でも読書は有用です。図書室がリニューアルしたら、子どもと本との距離が少しでも近くなるような「しかけ」を学校生活の中に意図的に仕組んでまいります。

△5「進んで運動」「規則正しい生活習慣」は、前回から4%低下し8割が「おおむねできている」と答えています。「運動」については、運動場でのボール使用に制限があるなどリニューアル工事に伴う環境的な要因が大きいといえます。また、「規則正しい生活」については、感染症等に起因する体調不良による生活の乱れが結果に影響していると考えられます。

改修された校舎で、更なる改善に向けた取組を行う次第です。今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

## ☆今後の方向性と取組

今回の結果を踏まえ、例えば下記のような取組を実践するなどし、子どもの変容を促したいと考えます。校舎の完成が待ち遠しい限りです。

【主体性・対話力を高めるために(案)】

- ・「やり取り」を大切にした授業
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・「ふり返し」から次の問いを生み出す授業

【読書への関心を高めるために(案)】

- ・短時間の「読書タイム」の確保
- ・〇〇のおすすめ本紹介
- ・委員会等の多様な企画

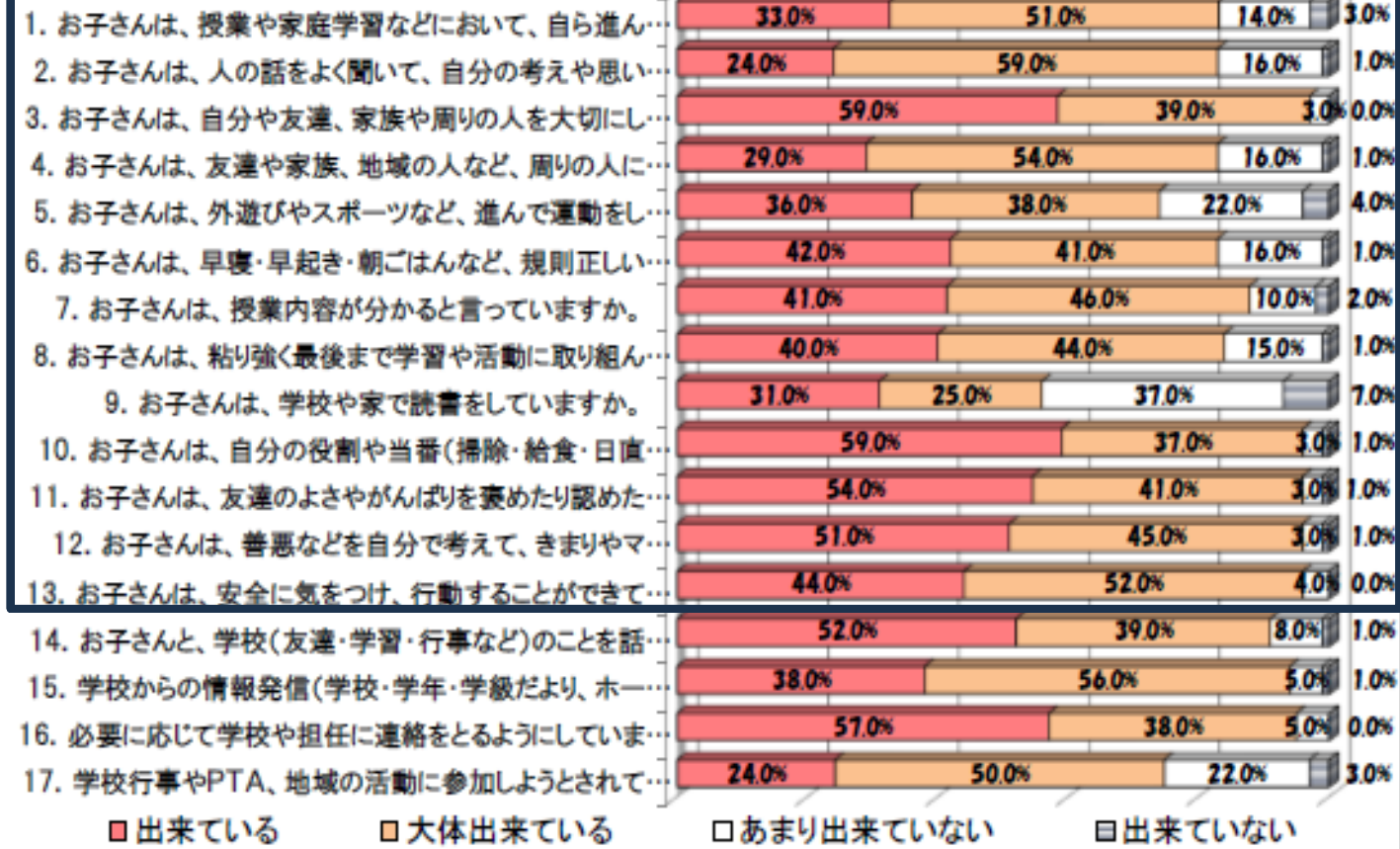
(読み聞かせ、読書会、しおり作成等)

【運動・規則正しい生活を意識するために】

- ・外遊びの推奨(係活動等とからめて)
- ・手洗い・うがい・換気の推奨
- ・歯磨きの実施



## 令和5年度 第2回 保護者



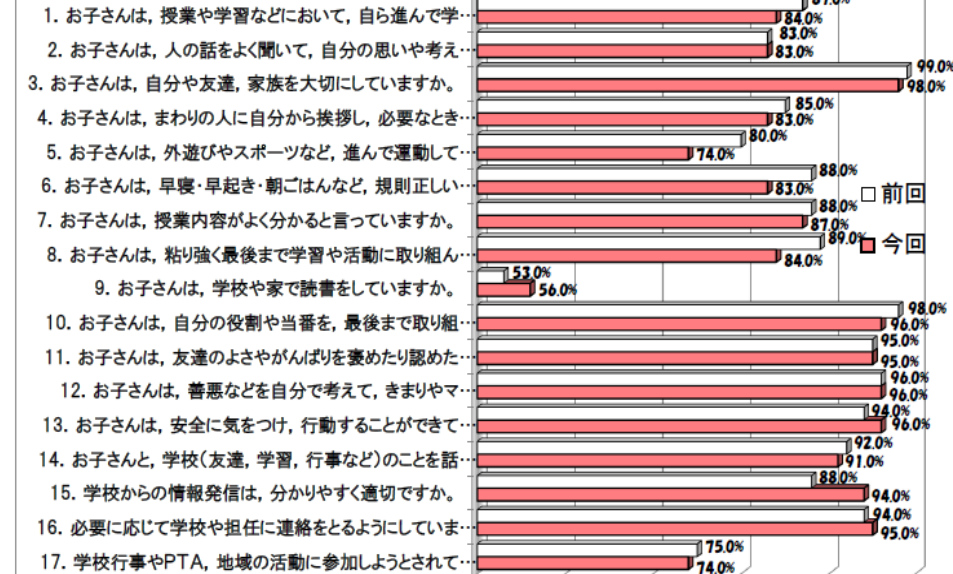
## ☆保護者アンケート結果より

アンケート内容が子どもと保護者で共通しているのは上段13項目です。「できている・おおむねできている」が、子どもは9割程度、保護者の皆様は8割程度のご回答でした。「できる」に至らないと判断された2割のご回答の裏側には、「こうあってほしい」と期待される姿がおありだと推察します。回答に差のあるご家庭において、「これでいい!」と思っている子どもに更に変容を促す言葉がけや取組を行うのは案外難しいものです。まずは、どう回答したかお子達に尋ねてみてください。その上で、子どもと話し合って目指す姿を共有し、スモールステップで実現を目指すことが大切です。学校と保護者が連携を図り、「おおむねできる」姿の実現を目指しましょう。

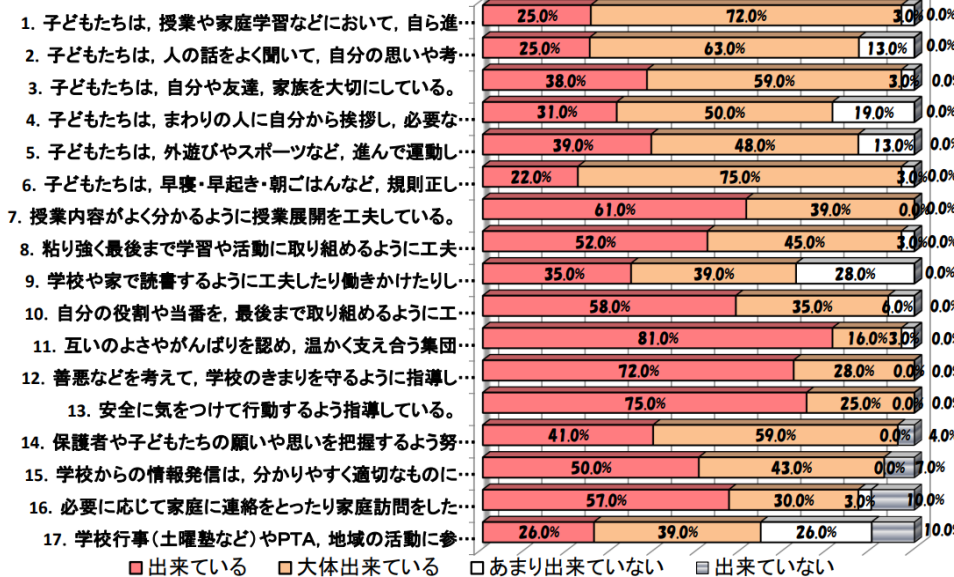
「9. 読書」については、子どもと同様 5 割強という結果でした。ご家庭での時間の過ごし方も多様化し、読書よりテレビやゲーム、インターネット、YouTube、SNS などの時間が増えているのではないのでしょうか。しかし、先述の通り、読書は子どもの成長に大きな効果をもたらします。国も子どもの「読書離れ」を危惧しています。1か月に1冊も本を読まない「不読率」の割合は小学生約7%、中学生約13%、高校生約44%だそうです。(令和5年度調査より)小学生のうちに読書習慣を確立することが大切です。身近な大人が「読書を楽しむ姿を見せる」など読書への誘いを意図的に行ってみるのも一案といえそうです。日々の忙しさや生活のデジタル化を理由に読書から距離が生じてしまっているご家庭は是非この機会に、読書に関わる取組を取り入れてみてください。

「15. 学校からの情報発信」については前回の 88%から 94%へと上がりました。7 月から活用を始めた「スクリレ」の定着が要因と言えそうです。本校の設定率は99.8%と非常に高く、ご理解・ご協力に感謝申し上げます。欠席の連絡をしたり、プリント類や連絡事項をお手持ちの端末で簡単に確実にご確認いただけたりする機能は、大変好評をいただいております。学校も保護者の皆様に連絡が伝わったか確認できるため、連絡もれを防ぐことができております。その上、今年度は集めていただいたポイントで、運動場で使用する「ライン引き」をいただきました。次年度も同様のアプリを本市は導入いたしますので、更なる活用法を模索してまいります。

## 前回(R5 7月)と今回の保護者結果比較 (出来ている+大体出来ている)



## 令和5年度 第2回 教職員



## ☆保護者アンケート記述欄より

お忙しい中、貴重なご意見を寄せていただきありがとうございます。頂戴したご意見は、今後の学校改善に活かしてまいります。全てをご紹介することは紙面の都合上叶いませんので、代表的なご意見をいくつか掲載いたします。

- ・他の学年のお友達との交流もあり、とても充実しております。
- ・スポーツデイにおける子たちへの動機づけ、真摯な練習、仲間との密なコミュニケーションなどに、多大な労力を割いていただきました。
- ・学習面も意欲的に取り組んでおり、「授業で学びたい、対面で話したい、考えを披露したい」という信念が根付いたように思います。
- ・誰とでも仲良く出来ている様子ですが、人前でも怖じ気付くことなく、自分が出せるようになると、今よりもっと充実した学校生活が過ごせるのになと思いました。
- ・学習意欲、集中力、周囲への気づきなど、低下しているようです。家庭では、個別に学習目標を設定して取組を続けて参ります。
- ・やりたいことややらせたいことがたくさんで時間が足りません。
- ・学習内容について、分からないことをそのままにしがちなため、理解できるまで聞くことを再徹底していきたいと思っています。

## ☆学校運営協議会より

先日「第3回学校運営協議会」を開催しました。学校運営協議会理事と本校教職員とで3つのチームに分かれ、「子どもたちの『自ら学ぶ力』をのばすために」をテーマに、学校評価アンケート結果も踏まえながら意見交流を行いました。

- ＊スタディサポートチーム:聴く力を伸ばす取組の在り方、課題である読書の現状把握
  - ＊ライブラリサポートチーム:本校図書室休館に代わる取組の在り方、開館時の取組の検討
  - ＊コミュニティサポートチーム:コミュニティデーの振り返り、地域の課題解決に向けた協議
- 地域・保護者・学校が協力して子どもを育むことの大切さを再確認することができました。

## 【こんな取組をしてみませんか？】

子どもがより充実した学校生活を過ごせるように、例えばこんな取組をご家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか？

《読書好きな子に！（案）》

- ＊家族で「10分読書」
- ＊地域の図書館にお出かけ
- ＊デジタルデトックスデー（TV・PC・ゲームなしの日）
- ＊私のおすすめブック

《進んで学ぶ子に！（案）》

- ＊取り組んだ宿題の「いいところ見つけ」
- ＊大人も面白がりながら一緒に学ぶ

《よりよい生活習慣へ！》

- ＊就寝前は画面を見ないようにし、良質な睡眠へ
- ＊早起き&登校時間（8時～8時20分）までの朝学習や朝読書
- ＊親子ウォーキング・ランニング